

2001年

第7回くまもとアートポリス推進賞



くまもとアートポリス
kumamoto artpolis

熊本県

第7回くまもとアートポリス推進賞の選考を終えて

選考委員長 堀内清治

くまもとアートポリス事業の一環として、平成7年度より実施してきたアートポリス推進賞の選定は今年で第7回を迎え、その趣旨は県民の間に広く受け入れられるようになったと思われる。最近の困難な経済事情のなかで、今年作品募集に対して67件もの応募があったことは、熊本の建築界の心意気を示すものと言っても良いのかも知れない。

その中から受賞作品を選びだす今年の選考委員会には、これまでアートポリス推進賞のために多大な貢献をして下さったトム・ヘネガン氏がお辞めになったので、その代わりに岡部憲明氏がお入りになったことと、岩永研一氏が委員を辞退されたので一人少なくなったこととが、去年とは変わった点である。その他の委員は昨年と同じであり、募集要項、選考方法も昨年と同様であった。岡部氏は有名な牛深の「ハイヤ大橋」の共同設計者であり、講演会やアートポリスで行うコンペの審査員をお引き受けになっておられる等、くまもとアートポリスとは縁の深い方なのでご存じの方も多と思われる。

選考委員会では、平成13年11月13日に開かれた第1次選考会議において13件の候補作品を選び、平成14年1月10日より12日にかけて現地審査を行った上で、アートポリス推進賞2点、同選賞5点を選出した。今年の最終選考会議では、個々の建物についての評価は当然

の事ながら委員によってさまざまに分かれ、結論に達するまでに若干の時間を要したが、大綱においては全員の意見は一致していて、全会一致の結論を纏めるのにそれほどの苦労はなかったことが特徴として挙げられる。これは今年応募作品が全体としてレベルが高かったことを意味する。このパンフレットには各選考委員が分担執筆した受賞作品に対する短い推薦文が載せられているが、それらの文章は、最終選考会議での討論を踏まえたものであることは言うまでもない。

どんな建築でも一人で出来るものではなく、それぞれの役割を担った多くの人々の協力が必要であることは言うまでもない。今回受賞されることになったこれら7点の優れた建築を実現されるに至った多くの関係者の御努力に対して深甚の敬意を捧げると共に、心からお祝い申し上げます。また、このような賞を通じて、熊本県の文化再構築を究極の目的とするくまもとアートポリス事業が今後も地道な発展をとげる事を願うものである。

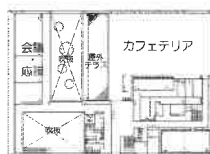




荏原九州

所在地 ■ 玉名郡南関町肥猪4000-1
 竣工年月 ■ 平成13年3月
 用途 ■ 事務厚生施設及び工場
 構造 ■ 鉄骨造
 階数 ■ 事務厚生棟 地上2階 工場棟 地上3階
 敷地面積 ■ 142,670.54㎡
 建築面積 ■ 12,588.57㎡
 延床面積 ■ 25,019.44㎡
 事業主 ■ 株式会社荏原製作所
 設計者 ■ 清水建設株式会社一級建築士事務所
 施工者 ■ 清水建設株式会社九州支店

2F



工場棟

1F



工場棟

荏原九州は、半導体製造に欠かせないウエハ研磨装置の生産工場である。菊池川沿いの丘陵地に立地し、九州自動車道へのアクセスも悪くない位置にある。今回応募した作品は全体計画の第1期に相当するもので、生産管理部門と生産部門の2棟である。配置計画の意図する所は明確で、生産管理棟は工場全体の中心核として位置付けられ、工場はそれから両側に増設されるようになっている。中心核の実体機能は、そこで働く従業員の日々の行動を支える厚生施設にあるようだ。生産管理、厚生棟は道路から進入する入り口方向に向かって、訪問者の視線を更にその奥にある丘陵風景まで誘う。入口正面の大きなガラス面は直線の区画で切り取った細い枠におさまり、この建築の性格を見事に表現している。それを一言で言えばクリーンである。何しろ近代建築の教科書には清潔で透明感に溢れる空間を目指すべきとされているから、仰々しい看板や装飾はあってはならない。近代建築のもう一つの表現は工業製品を現場で短期間に組み立てた物に由来する。こうした見方からすれば、この作品は近代建築のモラルを忠実に守り、しかも水準以上の結果を生んでいる。建築空間のハイライトは厚生棟の中庭にある。周りの山林の風景もさる事ながら、カフェテリアや会議室からの視線は中庭の植栽に向かう。室内の意匠は従って白く、表情を担わせないように抑えられている。これが環境に優しい意匠かも知れない。荏原製作所はその事を企業イメージとしているから、その意味で成功しているように思う。企業の建築評価判断に敬意を表したい。

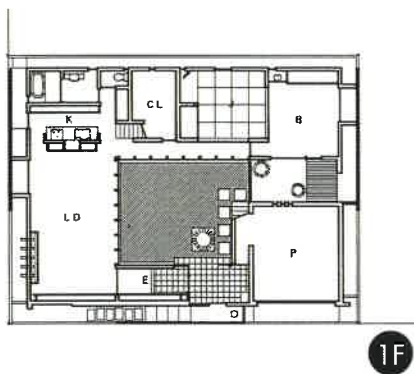
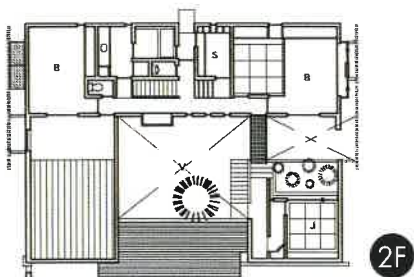
(渡辺 定夫)





K.Residence

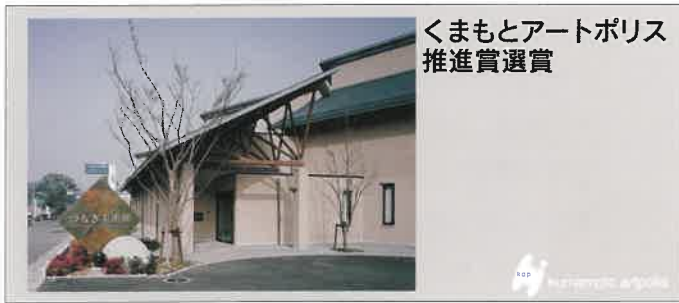
所在地 ■熊本市新土河原1丁目933-2
 竣工年月 ■平成12年9月
 用途 ■専用住宅
 構造 ■木造一部鉄筋コンクリート造
 階数 ■地上2階
 敷地面積 ■265.11㎡
 建築面積 ■158.72㎡
 延床面積 ■241.23㎡
 事業主 ■川津貴治
 設計者 ■有限会社森繁・建築研究所
 施工者 ■株式会社岩永組



木製の「塀」を思わせる建物の壁面に沿って石段を登ると、路地からの目隠しと引き戸があり、中に入ると玄関ポーチから一面の「水の中庭」が目飛び込む。駐車場入り口の回転格子戸も水庭に映え、楽しい住まいを予感させる。施主の、静かにゆっくり寛げる住まいにしたいという夫婦のベッドルームにはワンフロアの形で和室を繋ぎ、コタツで過ごすスペースを配置。書斎は廊下から専用の階段を使って入り込み独りを楽しむ空間としたり、「水の中庭」を囲む廊下やリビング・ダイニングからは天井まで広がるガラス越しに、水の揺らぎで光や色の変化を楽しんだり、家族の気配を感じることができる設計となっている。又、母屋の二階からグレーチングのブリッジを渡って入る茶室は、にび色の壁に天井の入隅から光が差し込む趣が瞑想ルームにも使えそう。水と光を取り込むことで四季の変化を感じさせ、プライバシーを守りながらも閉鎖されない暮らし方など、質の高い住まいが提案されているようだ。

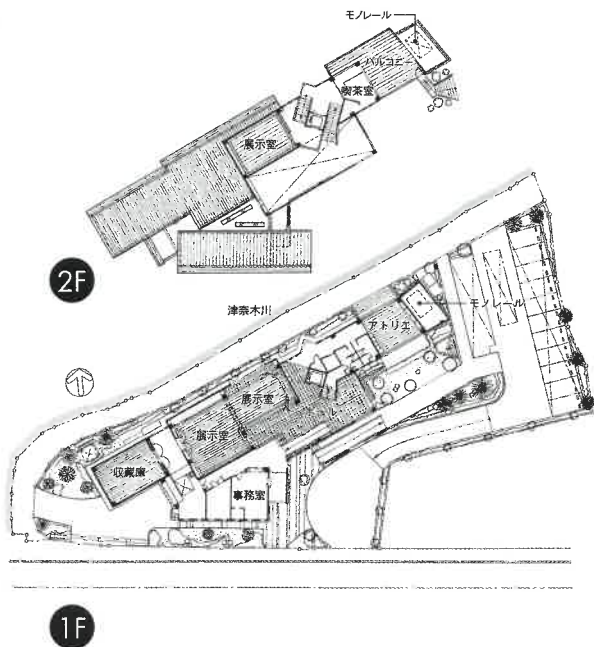
(星子 邦子)





つなぎ美術館

所在地 ■ 芦北郡津奈木町岩城494
 竣工年月 ■ 平成12年10月
 用途 ■ 美術館
 構造 ■ 鉄筋コンクリート造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 2,010.56㎡
 建築面積 ■ 691.71㎡
 延床面積 ■ 819.72㎡
 事業主 ■ 津奈木町
 設計者 ■ 株式会社エヌ・ティ・ティファシリティーズ九州支店一級建築士事務所
 施工者 ■ 株式会社植村組
 第一設備工業株式会社
 株式会社新星電気



「町全体美術館構想」を推進する津奈木町が指名コンペにより建設した美術館で、各種公共施設が集中する中心部に隣接し、「ローレイの岩」を思わせる重盤岩の断崖直下の津奈木川河畔にあって、その立地条件からも、否応なしに町を代表する立場を担っている。町独自の収蔵品の収集と常設展示に努力していることが評価される上、小規模ではあるが、展示室、収蔵庫、多目的ホール、家具が入念適切に設計され、平面、構造、設備にわたって万般の配慮にソツがない。珪藻土掻き落としの外壁も落ち着いた外観をもたらしている。特に興味深いのは美術館の端部から発車する最新のモノレールで、スリリングな急上昇で断崖上の展望台に達し、老人や子供でも、容易に自分たちの町を展望し、特異な景観を楽しむことができる。この美術館とモノレールの組み合わせは極めて独創的であり、ユニークな観光施設として津奈木町に大きく貢献することが期待される。

(桐敷 真次郎)





くまもとアートポリス
推進賞選賞



稗田の舎

所在地 ■熊本市稗田町1-19

竣工年月 ■平成13年3月

用途 ■専用住宅

構造 ■木造

階数 ■地上2階

敷地面積 ■248.69㎡

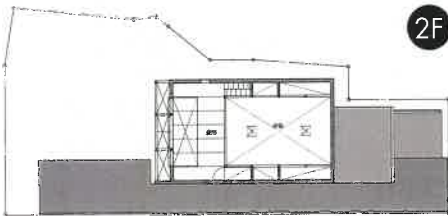
建築面積 ■134.44㎡

延床面積 ■153.17㎡

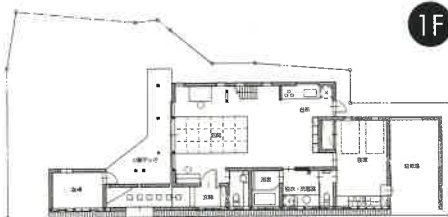
事業主 ■津嘉山毅

設計者 ■ばん設計小材事務所

施工者 ■光進建設株式会社



2F



1F

東面で道路に接し28mの長さで南北にのびる細長い敷地の形状と、街の中でのロケーションを極めて巧みに処理している。道路面のファサードを素材の選択と面の構成に工夫をこらし、玄関部分のさりげない処理と共に都市景観に潤いを与えるデザインに成功している。高窓、格子引戸、珪藻土の壁面、犬矢来など伝統の香りをういながら水平な長さを背後の片流れ屋根と対比させた構成には近代的すがすがしさが感じられる。内部空間では導入部部分、玄関部分のデザインが行届いている。長い壁に沿って個室、サービス空間が配置されその奥に吹抜空間、2階の空間が展開する。この部分の空間は南の庭と心地よくつながっている。内部空間は玄関部分を除くと煮詰められたデザインとは感じなかったが、今後、生活を展開していく居住者によって考察され、生活空間としてより豊かなものとなるベースとしてのヴォリュームと自然光の取入れ、庭との関わりなどの諸条件を備えている。推進賞選賞として評価する点として、戸建住宅が果たした都市景観へのデザインの貢献を特に指摘しておきたい。

(岡部 憲明)





くまもとアートポリス
推進賞選賞



ガレリアのある舎

所在地 ■ 玉名市大浜町字外新開1059-19

竣工年月 ■ 平成12年12月

用途 ■ 専用住宅

構造 ■ 鉄骨造

階数 ■ 地上2階

敷地面積 ■ 987.46㎡

建築面積 ■ 119.13㎡

延床面積 ■ 226.99㎡

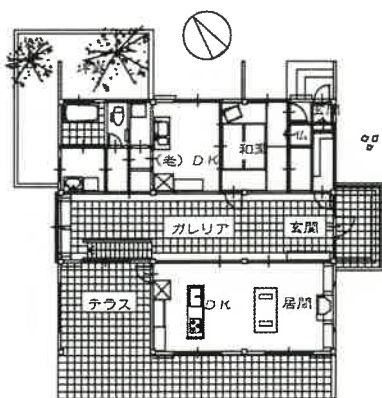
事業主 ■ 大仁田信一

設計者 ■ 有限会社倉田設計

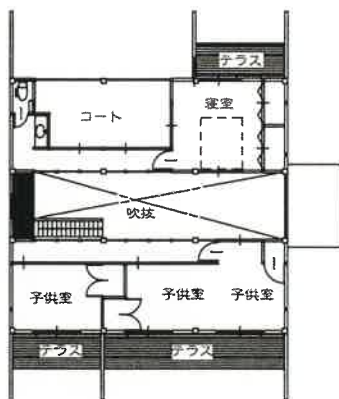
施工者 ■ 有限会社第一新陽建設

ガレリアとはアトリエやコンサート用ホールなどを指す「ギャラリー」の意。玄関を入ると中央に広い吹き抜けのスペースがある。ふだんは各部屋をつなぐ廊下のようなこの空間が、ミニコンサートや、同家夫人の取り組むトールペイントの掛かる場所として、既に生かされているという。聞けば住み手と設計者は数年前から話し合いを重ねており、二世帯住宅という条件のもと、随所に両者が信頼でつながっていることをうかがわせる。例えば、窓ガラスにこれまで使っていた障子ガラスをリサイクルしたほか、靴箱や家具などの細部にわたって、両者の知恵と工夫が見てとれる。その結果、設計者が強調する「ローコスト」に仕上がったのである。選考の中で、風変わりな意匠の外観は、周辺の環境に合致しているとは言い難いとの指摘もあったが、快適な住まいとして生かされるかどうか、今後は住み手にかかってくる。

(松下 純一郎)



1F



2F





くまもとアートポリス 推進賞選賞

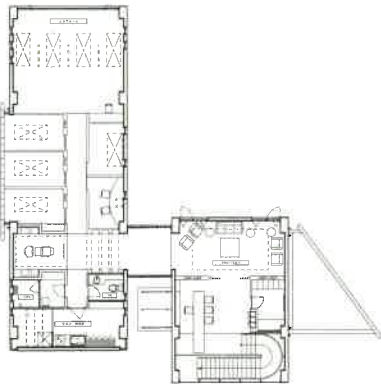


chase

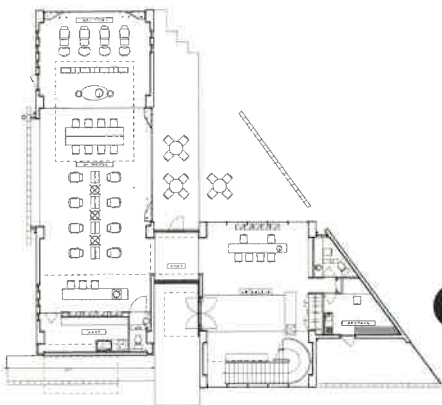
所在地 ■ 本渡市本渡町大字広瀬176-2
 竣工年月 ■ 平成13年3月
 用途 ■ 美容室・エステサロン
 構造 ■ 鉄筋コンクリート造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 463.10㎡
 建築面積 ■ 210.06㎡
 延床面積 ■ 398.58㎡
 事業主 ■ 山下 廣子
 設計者 ■ 有限会社現代環境+有限会社ロクス
 施工者 ■ 野上建設株式会社

天草・本渡市のエステ美容室「chase」を審査で訪れたとき、室内に入って、その広い窓から見える光景に目を奪われた。これだけの景色をもつこの建物を検討された時、関係者はどのように取り入れ、活かしていくかを様々な角度から話し合われたことだろう。充分すぎるほどの陽光を受けて、その室内はキラリとしまった清潔感が張り詰めていた。器具や備品の展示配列にも心配りが感じられ、自由奔放な外景と幾何学的な室内とのコントラストの演出も心地よく響き合い、高評価を得た。動線も無理がなく、また2階エステ部分には、多様な使用目的を考慮したフレキシブルな工夫も施されていた。変則的な敷地を中庭、外景色との組み合わせにより、効果的に利用されていることも印象に残った。来客は異次元的な快適を十分に堪能でき、また従業員側は機能性に満足されていることだろう。

(轟 多朗)



2F



1F





キューネット社員寮「希翔館」

所在地 ■ 熊本県市帯山4丁目49-1

竣工年月 ■ 平成13年2月

用途 ■ 社員寮

構造 ■ 鉄筋コンクリート造

階数 ■ 地上3階

敷地面積 ■ 1,253.17㎡

建築面積 ■ 737.66㎡

延床面積 ■ 1,559.07㎡

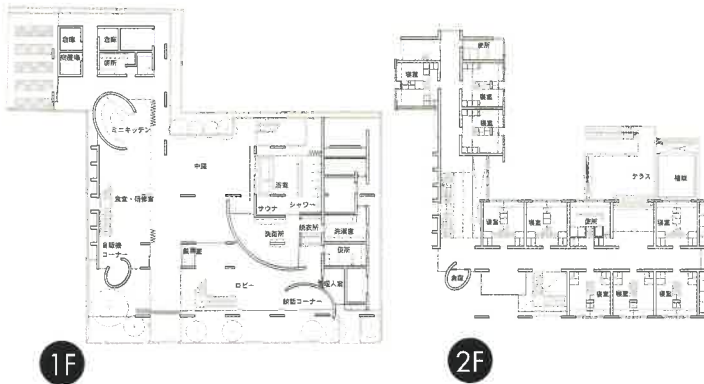
事業主 ■ 株式会社キューネット

設計者 ■ 株式会社北山創造研究所+株式会社K計画事務所

施工者 ■ 五洋・酒井建設工事共同企業体

この社員寮は、1階に中庭を中心としてロビー、食堂、浴室が、そしてその上部に2層の寮室が積層する構成をとっている。独身寮の場合、ともすると寮室は単調な空間構成となりがちであるが、ここでは吹抜けスペースをもつメゾネット形式であり、それぞれが適当なプライバシーをもつ4人部屋となっているところに特徴がある。2階のテラスが一階の中庭と立体的に連続するなど、中庭を中心とした1階パブリック空間は、吹き抜けを介して上部のプライベート空間と適度に一体化し、明るく開放的な空間となっている。独身寮というビルディング・タイプは個室を反復してゆく紋切型の建物が多いなかで、変化に富む空間構成をもつこの社員寮は評価してよいだろう。

(早川 邦彦)



撮影: 松岡 満男

受賞作品 位置図 くまもとアートポリス推進賞

2000年度 第6回

2001年度 第7回



39 荏原九州
[玉名郡南関町]



40 K.Residence
[熊本市]



41 つなぎ美術館
[芦北郡津奈木町]



42 稗田の舎
[熊本市]



43 ガレリアのある舎
[玉名市]



44 chase
[本渡市]



45 キューネット社員寮「希翔館」
[熊本市]



32 やつしろハーモニーホール
[八代市]



33 城南の舎
[下益城郡 城南町]



34 中央町福祉保健センター
「湯の香苑」
[下益城郡 中央町]



35 ネクステージビル
[熊本市]



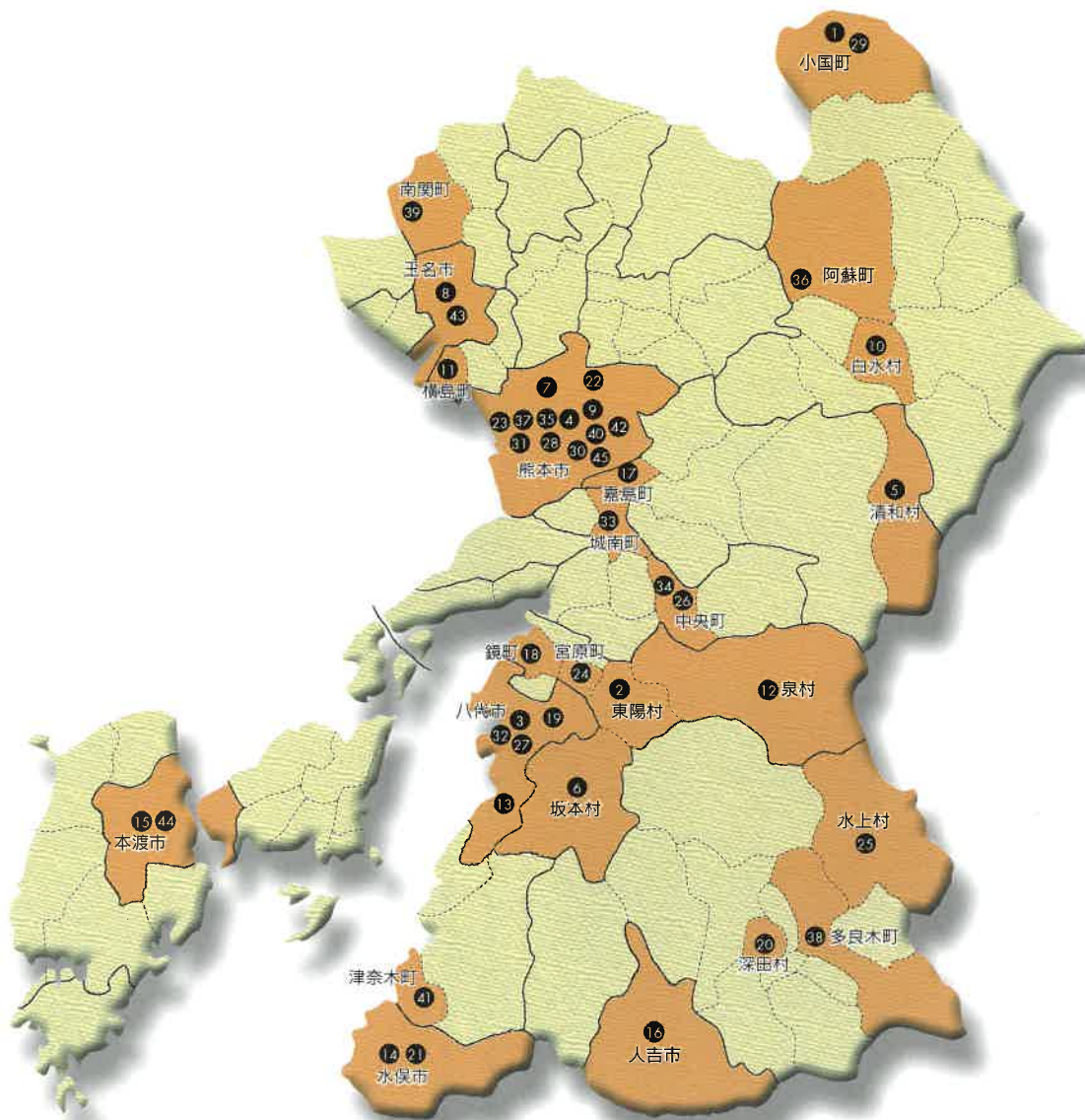
36 熊本YMCA
阿蘇キャンプメインホール
[阿蘇郡阿蘇町]



37 セカンドサイト
[熊本市]



38 霧の斎場
[球磨郡多良木町]



1999年度 第5回



25 ■ 水上村立湯山小学校
[球磨郡水上村]



26 ■ 中央町総合交流ターミナル
「石段の里 佐保の湯」
[下益城郡中央町]



27 ■ 榎柳新町公民館
(地域学習センター)
[八代市]



28 ■ シルワ・エッセ
[熊本市]



29 ■ 50M-樫の森美術館
[阿蘇郡小国町]



30 ■ 宮崎耳鼻科
[熊本市]



31 ■ 矢野邸
[熊本市]

1998年度 第4回



18 ■ 老人保健施設 かがみ苑
[八代郡鏡町]



19 ■ 熊本県信用保証協会
八代支所
[八代市]



20 ■ HOUSE:H-M
[球磨郡深田村]



21 ■ 水俣市保健センター・
水俣市総合もやい直しセンター
[水俣市]



22 ■ 古閑邸
[熊本市]



23 ■ 聖母の丘
[熊本市]



24 ■ 宮原町下宮はまどん公園
[八代郡宮原町]

1997年度 第3回



12 ■ 久連子古代の里
[八代郡泉村]



13 ■ 養護老人ホーム
八代市立保寿寮
[八代市]



14 ■ 水俣市営洗切団地
[水俣市]



15 ■ 丸尾焼工房
[本渡市]



16 ■ 人吉の舎II/平井邸
[人吉市]



17 ■ 浮島周辺水辺公園
[上益城郡嘉島町]

1996年度 第2回



9 ■ 慈愛園ノーマンホーム
[熊本市]



10 ■ 阿蘇白水温泉「瑠璃」
[阿蘇郡白水村]



11 ■ ふるさとセンターY・BOX
[玉名郡横島町]

1995年度 第1回



1 ■ 小国町立西里小学校
[阿蘇郡小国町]



2 ■ 東陽村石匠館
[八代郡東陽村]



3 ■ 八代広域行政事務組合
消防本部庁舎
[八代市]



4 ■ 野田市兵衛商店
流通団地営業所
[熊本市]



5 ■ 清和物産館
(四季のふるさと)
[上益城郡清和村]



6 ■ 荒瀬ダムボートハウス
[八代郡坂本村]



7 ■ 出田眼科病院
[熊本市]



8 ■ 尚玄山荘
[玉名市]

■ …くまもとアートポリス推進賞
■ …くまもとアートポリス推進賞選賞

第7回くまもとアートポリス推進賞

■ 募集要項

■ 趣 旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残り得る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス構想」を推進しております。

この事業の目的を達成するため、コミッショナーが国の内外から推薦した設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や、各種イベントの実施、広報事業等を行い、さらに幅広く県民の皆様のご理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を実施しています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と、都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、あわせて豊かな地域づくりを図ることを目的にしております。

■ 表彰対象

平成13年3月以前、概ね5年以内に竣工（改造、改修、修復を含む）した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等（くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く）とします。

■ 選考基準

本賞の選考は建造物等の企画、設計、施工及び施設の運用等に関する総合評価に基づき行います。

評価のポイント

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ① 優れたデザインを有しているもの | ⑤ 施設の活用に創意工夫がみられるもの |
| ② 新しい技術的提案や工法の改善がなされているもの | ⑥ 維持・管理が良好なもの |
| ③ 良好な施工が行われているもの | ⑦ 地域づくりに寄与しているもの |
| ④ ひとや環境にやさしい配慮がなされているもの | |

■ 賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

事業主（必要に応じて管理者を含む）、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。

また、事業主に銘板を贈ります。

■ 応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

■ 選考委員会

委員長 堀内 清治（くまもとアートポリスアドバイザー／熊本大学名誉教授）

委員 岡部 憲明（岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表／神戸芸術工科大学教授）

〃 桐敷真次郎（東京都立大学名誉教授）

〃 轟 多 朗（熊本県文化協会理事）

〃 早川 邦彦（早川邦彦建築研究室代表）

〃 星子 邦子（オフィスホシコ代表／消費生活コンサルタント）

〃 松下純一郎（熊本日日新聞社社会部次長兼論説委員）

〃 渡辺 定夫（工学院大学教授）

（五十音順）

■ 選考経過

募 集 平成13年9月25日～10月26日 応募件数 67件

書類選考 平成13年11月13日

現地審査 平成14年1月10日～12日 現地審査件数 13件

最終選考 平成14年1月12日 推進賞 2件、推進賞選賞 5件

表 彰 式 平成14年2月25日

熊本県

土木部建築課

〒862-8570

熊本市水前寺6丁目18番1号

TEL. 096(383)1111(内線6215)

FAX. 096(384)9820

<http://www.artpolis.net/>



くまもとアートポリスのマーク

シンボルマークは3つの楕円と1つの小さな丸で構成されています。

3つの楕円は、左から順に「地球／世界」「くまもとアートポリス／熊本」「ひと／地域」が、互いにつながっていることをあらわします。

楕円の傾きは地球の地軸の傾き（太陽を中心とする公転軌道に対する地球の軸／南北軸の傾き）と同じ23.5度です。

シンボルマークは、くまもとアートポリスの目標「地域と対話、地球とネットワーク」に対応しています。くまもとアートポリスは、地域に生活する人々と対話しながら様々な建造物や環境を創造します。同時にこのような活動は、常に地球規模のネットワークとも繋がり、世界的な環境への配慮や地域文化的な広がりをもっていることを示しています。

第7回

くまもとアートポリス推進賞 作品募集

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残り得る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス構想」を推進しております。

この事業の目的を達成するため、コミッショナーが国の内外から推薦した設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や、各種イベントの実施、広報事業等を行い、さらに幅広く県民の皆様のご理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を実施しています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と、都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、あわせて豊かな地域づくりを図ることを目的にしております。

第6回 受賞作品



くまもとアートポリス推進賞選賞





募集要項

表彰対象

平成13年3月以前、概ね5年以内に竣工（改造、改修、修復を含む。）した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等（くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。）とします。

選考基準

本賞の選考は建造物等の企画、設計、施工及び施設の運用等に関する総合評価に基づき行います。

評価のポイント

- ①優れたデザインを有しているもの。
- ②新しい技術的提案や工法の改善がなされているもの。
- ③良好な施工が行われているもの。
- ④ひとや環境にやさしい配慮がなされているもの。
- ⑤施設の活用に創意工夫がみられるもの。
- ⑥維持・管理が良好なもの。
- ⑦地域づくりに寄与しているもの。

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

事業主（必要に応じて管理者を含む。）、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。また、事業主に銘板を贈ります。

募集期間

平成13年9月25日から10月26日まで。
なお、郵送の場合は当日消印有効とします。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

応募方法

応募用紙に必要事項をご記入のうえ添付資料を添えて、熊本県土木部建築課アートポリス班まで提出して下さい。応募者は、あらかじめ事業主、設計者、施工者の了解を得て下さい。

選考委員会

委員長

堀内 清治（熊本大学名誉教授）

委員

岡部 憲明（岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表
／神戸芸術工科大学教授）

桐敷真次郎（東京都立大学名誉教授）

轟 多 朗（熊本県文化協会理事）

早川 邦彦（早川邦彦建築研究室代表）

星子 邦子（オフィスホシコ代表／消費生活コンサルタント）

松下純一郎（熊本日日新聞社社会部次長兼論説委員）

渡辺 定夫（工学院大学教授）

（五十音順）

発表

平成14年2月（予定）、該当者及び全応募者に通知いたします。

表彰

平成14年2月（予定）、表彰式を行います。

その他

応募資料は返却しませんので、必要な場合はあらかじめ各自複写をお願いします。

提出先・問い合わせ先

熊本県土木部建築課アートポリス班
〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号
TEL 096(383)1111(内線6215)
FAX 096(384)9820
ホームページ <http://www.artpolis.net/>

第7回 くまもとアートポリス推進賞 応募用紙

応募者

【氏名・所属等】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

対象建造物等

【名称】 _____ 【用途】 _____
【所在地】 _____
【竣工年月】平成 ____ 年 ____ 月 ____ 【構造】 _____ 【階数】 _____
【敷地面積】 _____ m² 【建築面積】 _____ m² 【延床面積】 _____ m²

- 対象建造物に関する以下の項目についても、なるべく記入して下さい。なお、よくわからない項目は記入しなくても結構です。
管理者は特に推薦するに値すると思われる場合に記入して下さい。
- 建築物以外については、項目を適宜修正して記入して下さい。

事業主

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

設計者

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

施工者

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

管理者等

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

- 以上の欄で記入しきれない場合は、下欄に記入して下さい。

【事業主等の別】	【会社名・氏名】	【住所】	【電話番号】

添付資料

- 写真 外観および内観の写真をA4版の用紙2枚以内に貼り付けて下さい。内部写真が撮れない場合は外観写真だけでもかまいません。
- 図面 施設の内容がわかる図面などを、A4版の用紙2枚以内に貼り付けて下さい。

応募理由（400字程度）

Dotted lines for writing the application reason.

付近見取り図（対象建造物等の位置がわかるもの。コピーを貼り付けてもかまいません。）

Dotted box for pasting a location map.

用紙はこのまま使用するか、コピーをして作成して下さい。